

第125回 定時株主総会

対処すべき課題

2025年6月24日

株式会社リコー
代表取締役 社長執行役員 CEO

大山 晃



リコーにとって変わらないこと

RICOH
imagine. change.

三愛精神
の実践

愛する
もの
を
愛す
く
愛す
る
を
愛す
く
愛す
る

多様なお客さまの
“はたらく”に
寄り添い続ける



“はたらく”の変化

RICOH
imagine. change.

はたらく
環境
の変化

はたらく
人
の変化

デジタルサービスの会社として
変わりゆく“はたらく”に寄り添い、
はたらく人の創造力の発揮を支える

デジタルサービスの会社への変革と 企業価値の向上

■ 注力領域とリコーの強み

- ・自社の強みを活かし、ワークプレイスサービスプロバイダーとして成長を加速する

注力領域

プロセスオートメーション
業務プロセステンジタル化と
AIやデータの活用の支援

ワークプレイスエクスペリエンス
コミュニケーション環境の構築と
最適な働く空間の提供

ITサービス
デジタルサービスの基盤



リコーの強み

顧客基盤

顧客接点

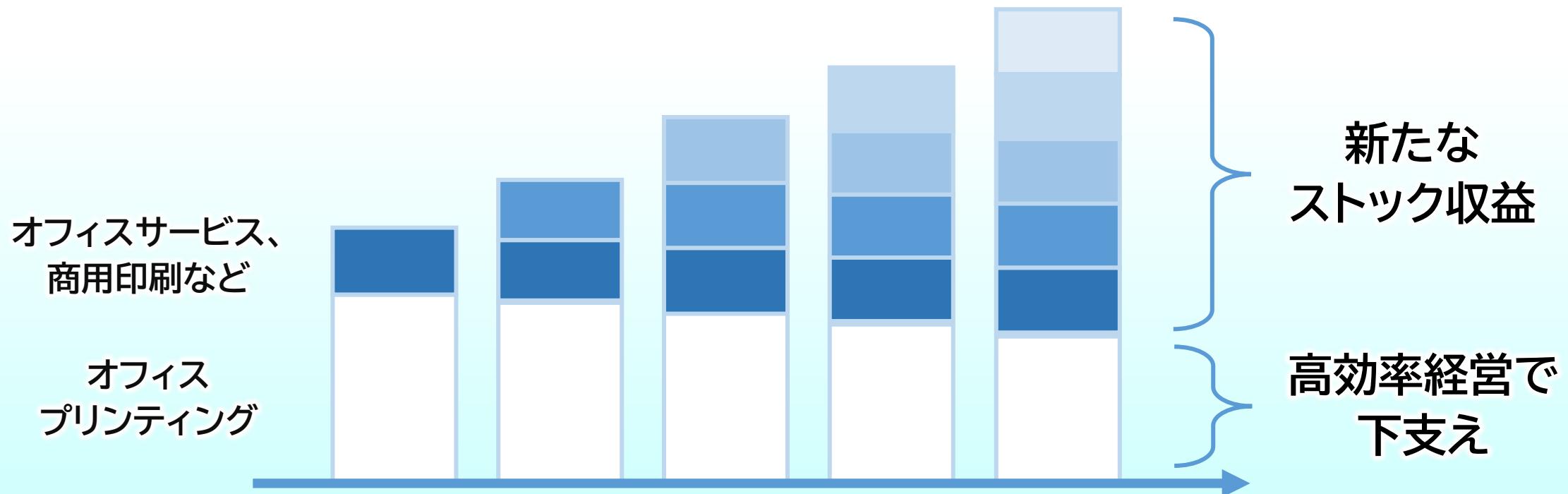
自社IP*

*自社IP(Intellectual Property):
“はたらく”を支える独自のデバイスとその技術、ソフトウェア技術など、
自社を差別化し、競争優位性をもたらす知的財産



デジタルサービスの会社としての成長

- ・ストック収益の積み上げによって、継続的な収益性向上と利益成長を図る

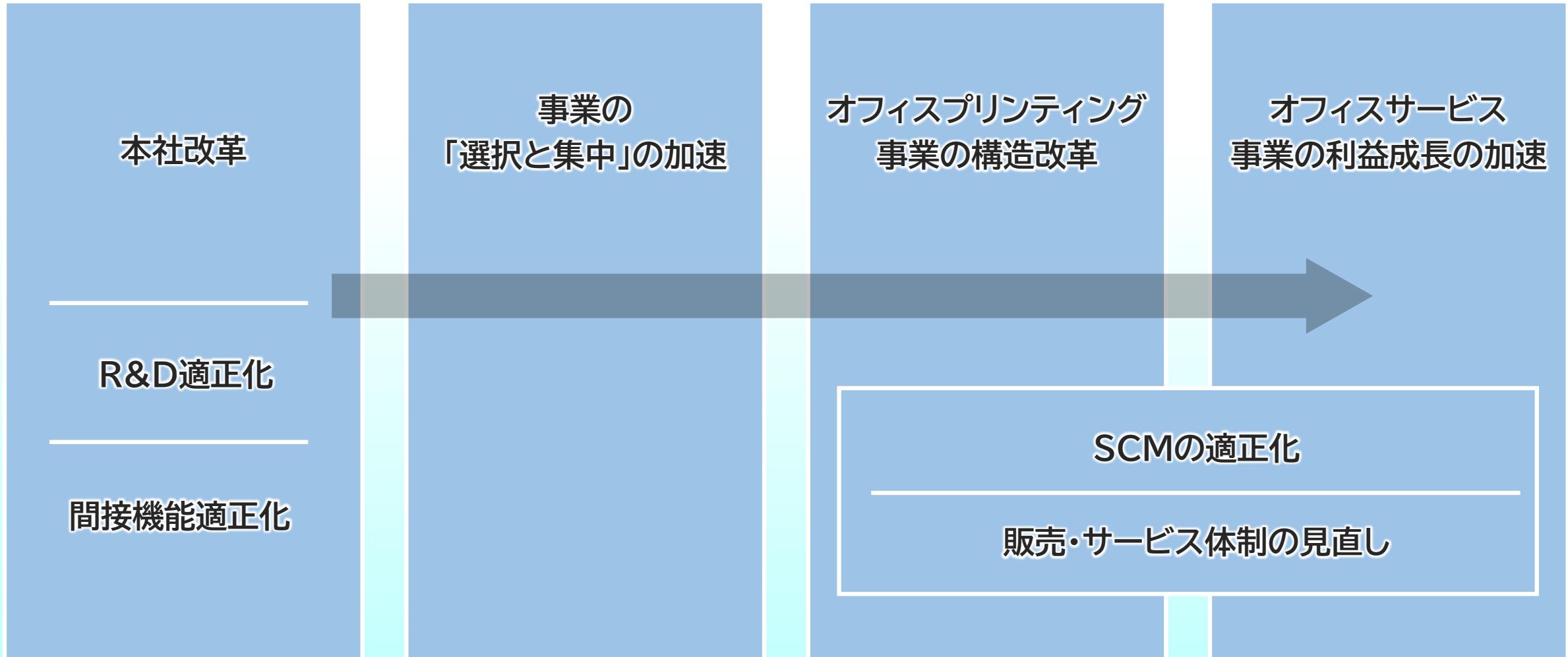


ストック収益：継続的な製品・サービスなどの利用契約により定期的に得られる収入

- 収益構造の転換を図る 企業価値向上プロジェクト
- デジタルサービスの成長を支える 人的資本戦略
- ESGと事業成長の同軸化

企業価値向上プロジェクト

- ・2025年度までに520億円超の効果創出を想定（2023年度比）



■ 人的資本戦略

RICOH
imagine. change.

- ・3つの柱を軸にデジタルサービスの会社への変革を加速する

自律

社員の潜在能力の
発揮を促す

成長

個人の成長と
事業の成長の同時実現

“はたらく”に歓びを

社員のはたらく歓びに
つなげる

■ ESGと事業成長の同軸化

- ・ESGへの取り組みは事業における将来の機会の獲得・リスク回避につながる
- ・ESG目標を「将来財務」として経営目標に組み込み、ESGと事業成長の同時実現を図る



主なESG関連外部評価

評価・指標	2024年度	備考
Dow Jones Sustainability Indices	World Index	5年連続
日経サステナブル総合調査 SDGs経営編/ 日経SDGs経営大賞	5つ星/プライム シート企業認定	6年連続/初
CDP (気候変動)	A	5年連続
CDP (水セキュリティ)	A	2年連続
EcoVadis	Platinum	上位1%
Global 100	51位	セクタトップ



企業価値向上に向けた主な取り組み

① 資本収益性の向上

- ストック収益積み上げによる**継続的な収益性向上と利益成長**

- ・オフィスサービス、商用印刷ストックの積み上げ
- ・オフィスプリントティングのノンハードの収益減少の極小化

- アセットマネジメント強化による**最適資本・資産構成の実現**

- ・事業ポートフォリオ見直し、アセットライト経営の推進
- ・資本と負債の適正バランスの維持

② ESG経営のさらなる深化

ESGと事業成長を同軸化し、事業を通じて社会課題の解決に貢献

③ 外部環境変化への機動的かつ迅速な対応

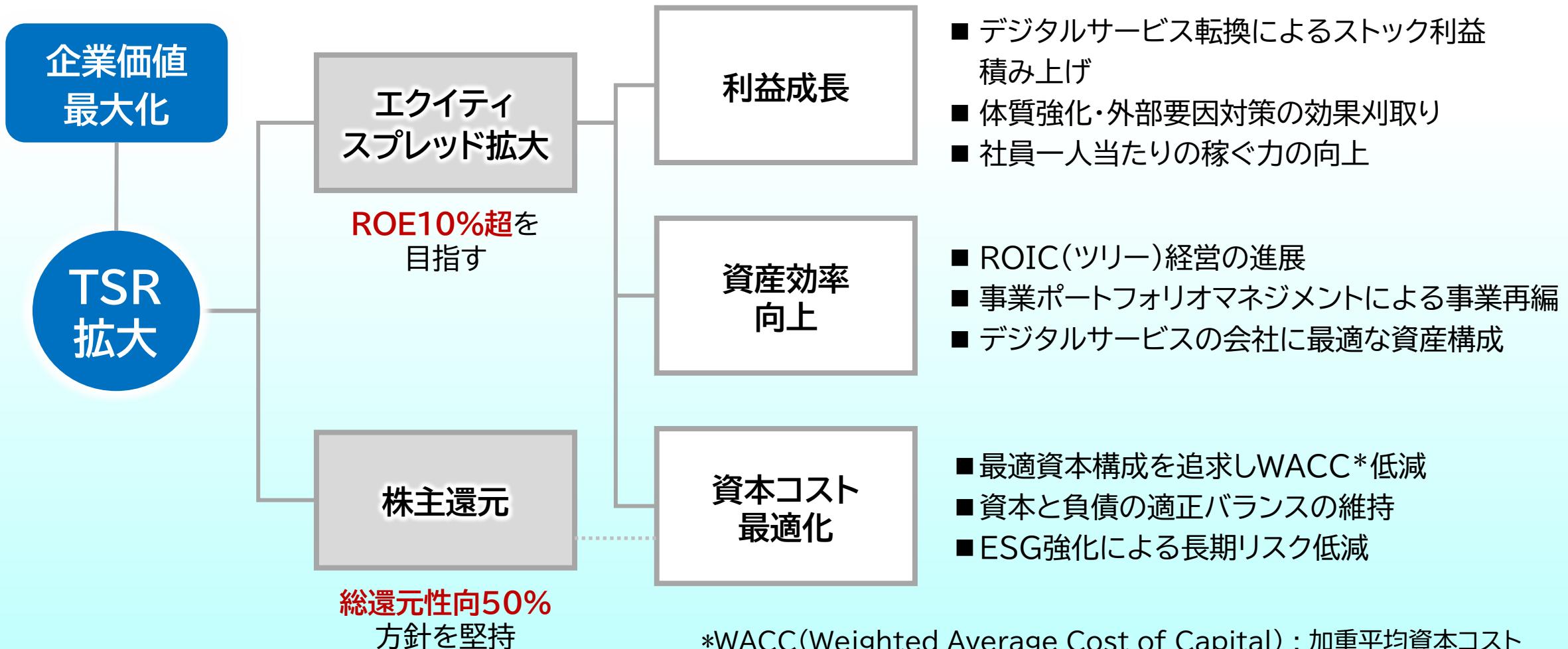
国際政治・経済の変化、およびテクノロジーの進展への対応強化



株主価値向上に向けて

■ TSR拡大を通じた株主価値・企業価値の向上

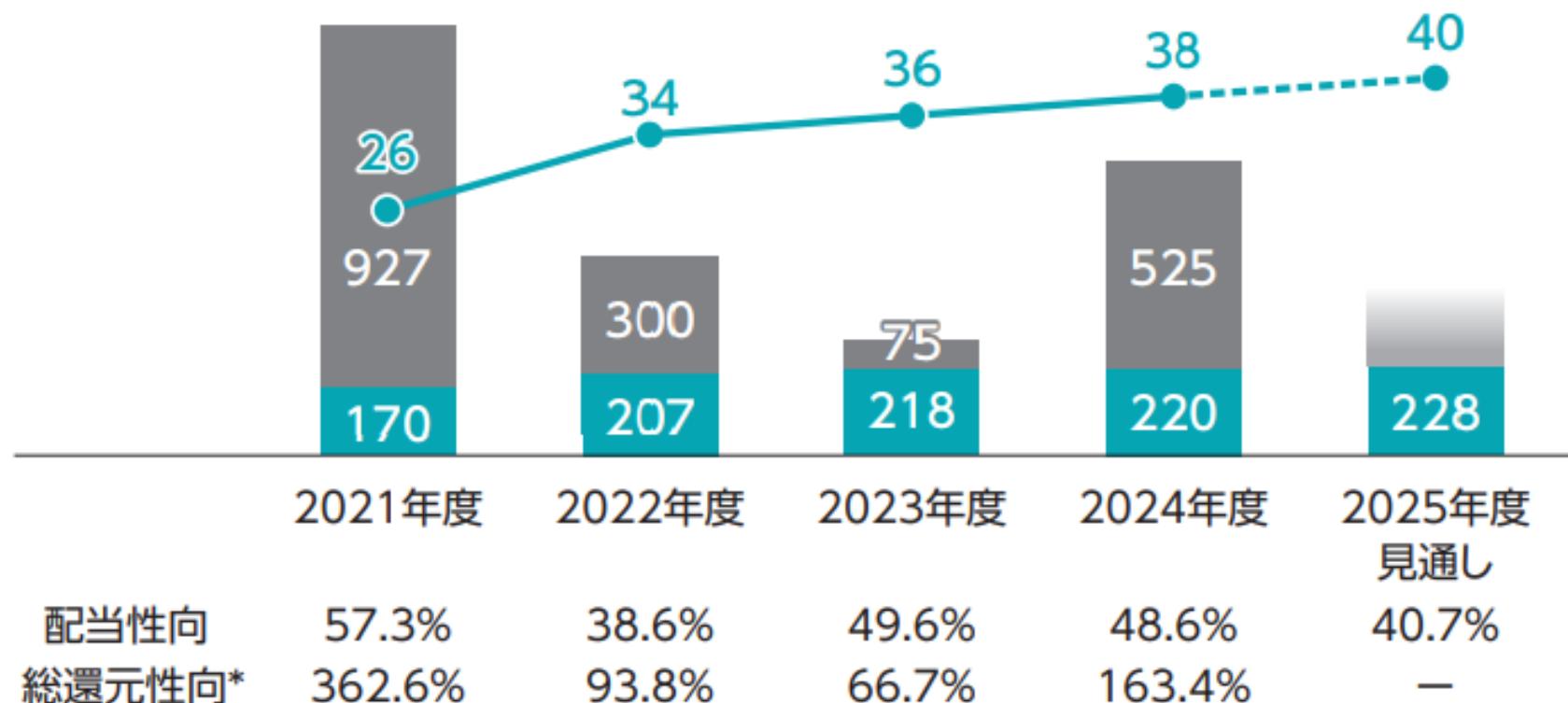
RICOH
imagine. change.



■ 株主還元方針

- ・総還元性向50%の方針は堅持、継続的な増配と機動的な追加還元策によるTSRの向上

■配当金(億円) ■追加還元策(億円) ●1株当たり配当(円)



還元方針

総還元性向の目安50%

配当

配当利回りを勘案した継続的な増配を目指す

追加還元策

最適資本構成をベースに経営環境や成長投資の進捗を踏まえながら機動的かつ適切なタイミングで実施



最後に

“はらく”に歓びを

“はらく”に寄り添い 変革を起こしつづけることで、
人ならではの創造力の発揮を支え、
持続可能な未来の社会をつくります。

RICOH
imagine. change.